

経営比較分析表（令和6年度決算）

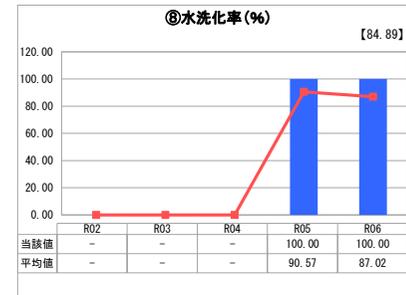
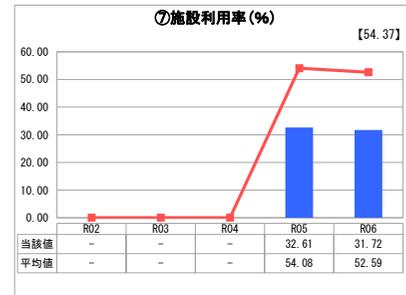
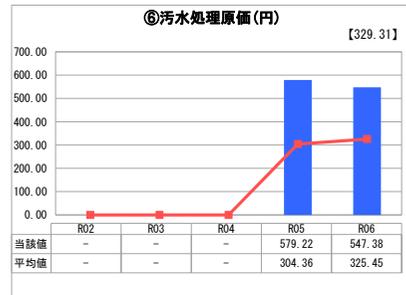
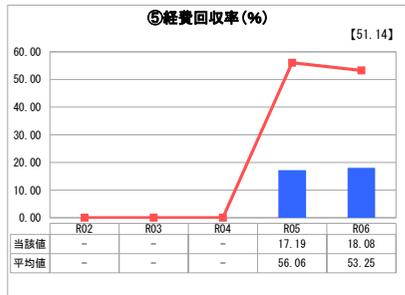
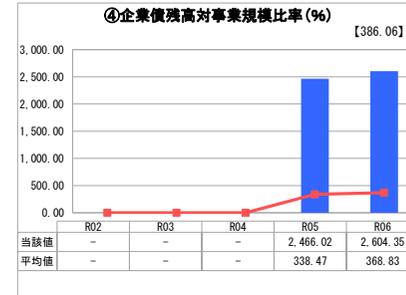
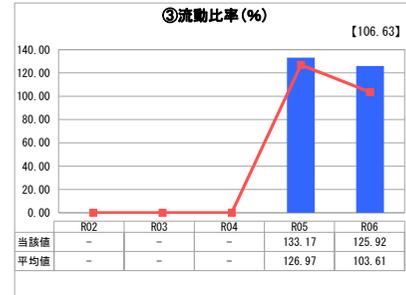
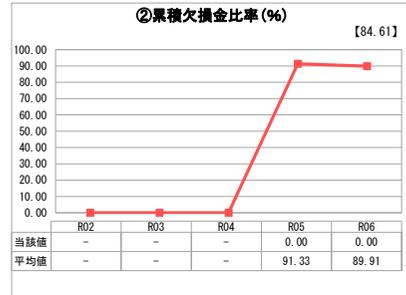
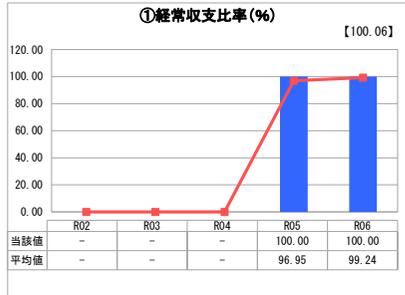
広島県 広島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.58	0.20	100.00	2,219

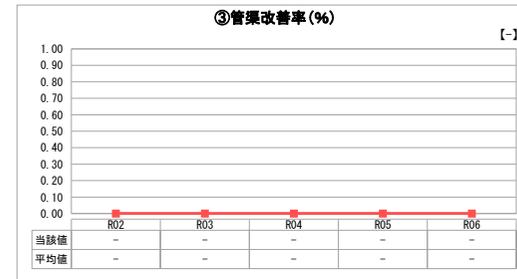
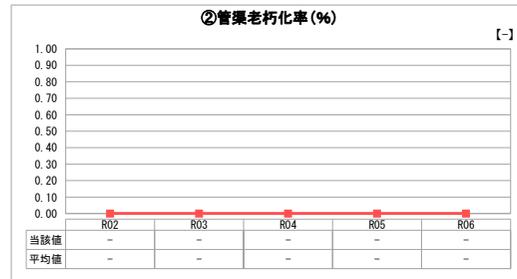
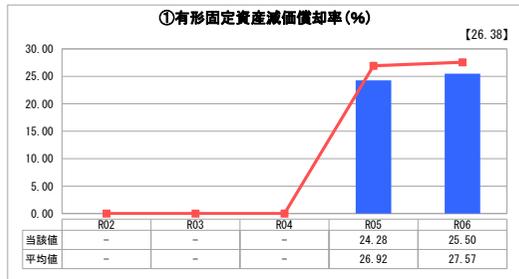
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,173,543	906.69	1,294.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,320	0.00	-

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
使用料以外に他の補てん財源を受けて収支を均衡させていることから、100%となっています。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金が生じていないため、0%となっています。
- ③ 流動比率
100%を超えています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を上回っています。
- ⑤ 経費回収率
使用料収入で経費を賄っていないため100%を下回っています。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を上回っています。
- ⑦ 施設利用率
類似団体の平均値を下回っています。
- ⑧ 水洗化率
100%となっています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
有形固定資産の帳簿価格に対する減価償却累計額は毎年増加しており、更新時期を迎える資産が増加しています。

全体総括

本市では、公共下水道及び市街化区域外における3つの事業（特定環境保全公共下水道、農業集落排水及び市営浄化槽）を1つの下水道事業として一体的に運営しています。

市街化区域外では、使用料収入で経費が賄えず、他から補てん財源を受けて経常収支比率をほぼ100%としているため、水洗化率の向上等に取り組むとともに、費用の削減に努める必要があります。

このため、中期経営プラン（令和6年度～令和9年度）に掲げた整備計画とその裏付けとなる経営計画を着実に実行し、全体として健全で効率的な運営に引き続き努めるとともに、人材育成と技術継承にも取り組んでまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。